

ファイザー社製ワクチンの異物混入報道を受けての本市の対応について
(その2)

令和3年9月15日付広資料第285号で、本市に納品のあった使用前の新型コロナウイルスワクチンのバイアル(ロット番号FF5357)について、他自治体で異物(白い浮遊物)が混入している事案が発生したため、当面の間使用しないこととする旨お知らせしましたが、その後当該ワクチンの製造会社であるファイザー株式会社から、バイアル内の白い浮遊物については製品由来のものであり、安全性に問題ないとの発表があり、厚生労働省からも同様の発表がありました。

つきましては、安全性に問題ないこと、ワクチンの使用期限等を勘案し、市の集団接種会場において、同ロット番号のワクチンを使用することとしましたので、お知らせします。